経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 容器包装リサイクルワーキンググループ（第17回）（書面審議）-議事要旨

日時：平成27年10月21日（水曜日）

議題

容器包装リサイクル法の義務量算定に係る量、比率等について

産業構造審議会容器包装リサイクルワーキンググループ委員：
郡嶌座長、有田委員、織委員、川村委員、鬼沢委員、小嶋委員、古塩委員、佐々木委員、篠木委員、杉山委員、鈴木委員、砂田委員、宗和委員、辰巳委員、中田委員、永田委員、根本委員、花澤委員、馬場委員、平尾委員、宮田委員、村山委員、百瀬委員、森塚委員、森本委員、柳田委員、山村委員

議事概要

議題について、書面審議により意見を聴取した。提出された意見は次のとおり。

委員の意見

- 適切な調査・推定が行われている。算定結果について特段の問題はない。
- 紙製容器包装の再商品化義務総量について、分別収集見込量から市町村独自処理見込量を差し引いた量とすることは賛成である。
- 一部の項目の比率における経年で数%の変動について、理由を分析すべき。
- 数字の意味するところがわかるように分析を付加すべき。
- 紙製容器包装の独自処理について市町村は適正に再生利用しているのか。
- 容器包装メーカーの義務割合に対し、小売業の義務が重すぎるのではないか。

関連リンク

産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 容器包装リサイクルワーキンググループの開催状況

お問合せ先

産業技術環境局 リサイクル推進課
電話：03-3501-4978
FAX：03-3501-9489

最終更新日：2015年10月28日